



発行 宮城県 県民の森管理事務所 TEL&FAX 022-255-8801 入園料：無料  
〒981-0121 宮城県宮城郡利府町神谷沢字菅野沢 41  
(指定管理者) 特定非営利活動法人 宮城県森林インストラクター協会

利用時間：4月～10月/9時～16時30分  
11月～3月/9時～16時

HPはこちら!

去年の2月は5日にスリップにより車が道路のり面に転落する事故が発生、7日にスリップした車の衝突事故が発生しています。18日にはスリップした車が道路のり面から沢に向かって数十メートル転落する事故が発生しました。3件の事故はほとんど同じ場所で発生していたので、対策を求め道路管理者の宮城野区に相談に伺いました。相談のかがあってか去年12月17日、事故現場にガードレールが設置されました。幸い今シーズン、事故は発生していないようです。冬道、車での走行はくれぐれもお気をつけください。(所長：森山稔也)

## ■断水・停電のお知らせ (2/16・24～25)■



電気工事のため、2月16日13～15時、停電します。館内の照明・暖房・自販機がとまります。

また、給水設備工事のため、2月24～25日の2日間、中央記念館が断水となります。外のトイレは閉鎖、館内のトイレはバケツの水をご利用ください。25日には半日程度(時間未定、決まり次第、お知らせします)、停電となります。



ご迷惑をおかけいたしますが、ご協力をお願いいたします。ご協力をよろしくお願いいたします。



## ■防火巡視が始まります■

2月15日から5月17日まで、警備会社の全日警と協同で園内防火巡視を実施いたします。甚大な被害をもたらした1983年の県民の森の火災を教訓に、園内の防火と安全パトロールに努めております。山火事のニュースも多い昨今、園内はすべて火気厳禁・禁煙です。ご利用される皆様にも



## ★県民の森クローズアップ NO.10★

### 県民の森のみどころ

県民の森の見どころの紹介です。

NO.1は、モミジの道、幹線道路から少し入って間もなくのところ、昨年は紅葉が少し遅かったのですが、毎年、綺麗な紅色を見せてくれます。



11月中旬位から12月はじめ位までが最高潮です、吸い込まれるような紅色とオレンジのグラデーション、日差しとのコントラストは最高です。必見です。

NO.2は、梅苑です。2月の雪のころ、一面真っ白の中に梅のつぼみがあちこちでふくらとふくらんで、少し早い春を感じさせてくれます。

出会いのタイミングが特に難しいですね。

NO.3は、県民の森中央記念館のシンボルと言っても過言ではない、サツキ園です。中央記念館の駐車場から見下ろす景観は圧巻です。

見頃は6月、一斉に咲くのは稀で大抵は部分的に順々に咲いている様です。そんな年は少し長く楽しめるので、それもととても良いです。

2月からは県民の森恒例の防火巡視が始まります。今年も雪景色の梅苑に出会えるのを楽しみに1日20kmの防火巡視を歩こうと思います。(ほんだ)



◆中央記念館◆コーナーvol17~お土産売所11~

「森のリース」ヒラヤスギの実だけで作った、おしゃべりなシリアルリースです。にぎやかにしたければ、自分でアレンジできますよ！『木の実のバレット』とともに、冬に人気です。

『ヒラヤスギ』って、実は『マツ』

の仲間だって、ご存じ

でしたか？さまざまな

アレンジに人気のヒラ

ヤスギのマツボックリ

も販売中です！



シヨウビタキ 副鱗 (スズメ目ヒタキ科)



大陸から渡ってくる冬鳥で

開けた林や公園、農地などで

見かけます。

ヒツヒツカツカツと

鳴きながら尾羽を振り、縄張

りをぐるりと回って、昆虫や

クモ、冬は木の実も食べます。

全長約15cm、オスの頭

は銀色、黒いお顔とオシロシ

さなタネがお行

かかった茶色いお腹のおしや

れな装い。メスはくんとし

た目でシツクな茶褐色です。

どちらもツバに白い斑点が

あり、着物の紋に見えること

から「紋付鳥」の愛称があり

ます。人をあまり恐れないの

で観察しやすい人気者です。

(写真：もちお・文：もち)



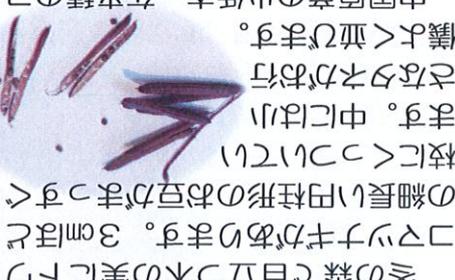
今月のスタックが見つけた！せんのおとこ写真館



トウコウツナギ 唐駒繁き

別名：キタチコウツナギ

(スズメ目コウツナギ属)



冬の森で目立つ木の実にトウコウツナギがあります。3cmほどの細長い円柱形のお豆がまっすぐ枝にくっついてます。中には小さなタネがお行かしたタネが小さく並びます。中国原産の小低木。在来種のコウツナギよりも、明らかに大きいのですが、他はあまり変わりません。法面工事や護岸工事に吹きつけられたものが各地で野生化。名前の由来に、茎が丈夫で、馬の脚を繫ぎとめておけるからと(駒)の説がありますが、実際はそんな頑丈ではないので、葉が馬の好物でこの木から離れなくなるという説の方が有力です。6~9月の長い間スズメ科特有の小さな可愛い花が元気に咲き続けています。(田沢)

カマツバキ 藪椿

別名：ツバキ・カマツバキ (ツバキ科ツバキ属)



海岸地に多い植物ですが、県内には全域で確認されています。北限は青森県夏泊半島。名前の由来は「厚葉木」「艶葉木」が転訛した説があります。枝先に咲く赤い花には甘い蜜がたっぷり含まれ、メシロなどの野鳥を誘う鳥媒花です。種子から採る良質な油は「椿油」と呼ばれ、食用や整髪料に利用されます。かつて、武士はツバキの花を嫌ったといわれます。理由は花の散り方です。落花のとき、パツパツと散らず、花ごとほとりと落ちる様が「首が落ちる」と連想させたためです。逆に「潔い」「散り際が美しい」と好む場合もあったとか。園芸種も多く、花の少ないこの時期、赤や白など、多彩な花は見ると人の目を楽しませてくれます。(駒野)

■各種工事や作業のお知らせ

工事中

アスファルトの補修工事が本格的に始まり、迂回路をご利用ください。枯損木の伐採作業が、仙台市、宮城県、泉民の森管轄でそれぞれ行われています。作業の際は誘導員の指示に従ってください。給水工事は順調に進み、今月の断水・停電の後には完成を待つばかりとなります。各種工事、作業等でご迷惑をおかけしておりますが、ご協力をよろしくお願いいたします。

